

# 再 評 価 調 書

I 事業概要							
事業名	道路事業						
地区名	一般国道 155 号 <small>むらなか</small> (村中拡幅)						
事業箇所	小牧市大草 <sup>おおくさ</sup> ～村中 <sup>むらなか</sup>						
事業のあらまし	<p>一般国道 155 号は、愛知県常滑市を起点とし、瀬戸市、春日井市、小牧市等を経由し、弥富市に至る、名古屋圏の第 3 環状道路及び尾張北部地域における東西横断道路の機能を有する幹線道路である。</p> <p>2009 年度に大草工区が暫定 2 車線で開通し、2011 年度には村中工区において暫定 2 車立体が完成しているが、小牧原新田工区は 4 車線区間であるものの交差点部に右折帯がないためにボトルネックとなっており、時間帯を問わず慢性的に渋滞が発生している。また自才前工区は 4 車線区間であるが歩道が整備されておらず、沿線の公共施設を利用する歩行者の安全が確保できないことから、歩行者空間整備の必要性が高まっている。</p> <p>本事業は、「地域の活性化」、「交通事故対策」、「地震・津波対策」を主な目的として、交通混雑の解消と交通円滑化の促進を図るとともに、歩道狭小で自転車歩行者交通が危険な状態の解消、安全な歩道空間の確保を図るものである。</p>						
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①地域の活性化（地域の主要渋滞箇所等の渋滞緩和）</p> <p>②交通事故対策（自転車歩行者交通の安全性向上）</p> <p>③地震・津波対策（緊急輸送道路ネットワークの強化）</p> <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p> <p>—</p>						
計画変更の推移		事前評価時 (2001 年度)	再評価時 (1 回目) (2011 年度)	再評価時 (2 回目) (2016 年度)	再評価時 (3 回目) (2021 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2003 年度 ～2007 年度	2003 年度 ～2025 年度	2003 年度 ～2025 年度	2003 年度 ～2025 年度		
	事業費 (億円)	57.3	108.3	103.0	116.0	・家屋調査に伴う、 補償費の増加。	
	経費内訳	工事費	17.2	49.4	43.7	48.8	・歩行者対策として、 横断歩道橋の追加。
		用補費	39.1	56.8	55.6	61.7	
	その他	1.0	2.1	3.7	5.5		
事業内容	<p>【全体】 L=1.7km</p> <p>村中工区 (L=1.3km 暫定 2 車立体)</p> <p>大草工区 (0.4km 暫定 2 車整備)</p>	<p>【全体】 L=2.9km</p> <p>村中工区 (L=1.3km 立体 4 車整備、立体前後平面 4 車整備)</p> <p>自才前工区 (L=0.8km 右折帯・歩道整備)</p> <p>小牧原新田工区 (0.4km 平面 4 車整備)</p> <p>大草工区 (0.4km 平面 4 車整備)</p>					
II 評価							

1) 必要性  
の変化

## 【事前評価時の状況】

- ・一般国道41号と交差する村中工区は、東名高速道路小牧ICと近接しているため、交通が輻輳し、著しい交通渋滞が発生するとともに、名古屋高速11号小牧線小牧北入口延伸(2002年4月供用)による更なる交通の増加が見込まれ、早急に慢性的な渋滞状況を改善する必要があった。また計画区間周辺においては物流施設が数多く立地しており、村中交差点の渋滞緩和による高速道路等へのアクセス向上が求められていた。
- ・大草工区は小牧市内の唯一の未整備区間であり、尾張北部を結び東西に連絡する幹線道路として、早期にネットワーク化することが求められていた。

## 【再評価時(1回目)の状況】

## ①地域の活性化

- ・2007年8月の大草工区の暫定2車線供用により、一般国道155号バイパスの交通量は増加している。(1999:14,500台/日 → 2010:18,700台/日)

## ②交通事故対策

- ・小牧原新田工区、自才前工区では、朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が慢性化していた。また、自才前工区では、歩行者の増大により、安全な歩行空間を確保することが求められていた。

## 【再評価時(2回目)の状況】

## ①地域の活性化

- ・小牧市小牧原から村中の間は2013年度に主要渋滞区間に指定されており、交通量が18,695台/日、混雑度が1.31(2010センサス)と依然として混雑している。また、並行する現道の混雑度は1.17、主要地方道春日井各務原線の混雑度は1.18であり、並行路線の混雑度も1.0を超えている。

## ②交通事故対策

- ・自才前工区は、歩道が未整備であるが、周辺に公共施設が複数立地している(パークアリーナ小牧、名鉄小牧原駅、小牧原小学校、岩崎中学校)ことに加え、昼間12時間大型車混入率が21.6%と高いことから、安全な歩行空間の整備が必要である。

## ③地震・津波対策

- ・国道155号は第一次緊急輸送道路としての位置づけがあり、緊急時の避難・救助機能を向上することが必要である。

## 【再評価時(3回目)の状況】

## ①地域の活性化

- ・小牧市小牧原から村中の間は2013年度に主要渋滞区間に指定されており、交通量が27,255台/日、混雑度が1.22(2015センサス)と依然として混雑している。また、並行する現道の混雑度は1.16、主要地方道春日井各務原線の混雑度は1.22であり、並行路線の混雑度も1.0を超えている。

## ②交通事故対策

- ・自才前工区は、歩道が未整備であるが、周辺に公共施設が複数立地している(パークアリーナ小牧、名鉄小牧原駅、小牧原小学校、岩崎中学校)ことに加え、昼間12時間大型車混入率が19.6%と高いことから、安全な歩行空間の整備が必要である。

## ③地震・津波対策

- ・国道155号は第一次緊急輸送道路としての位置づけがあり、緊急時の避難・救助機能を向上することが必要である。

## 【変動要因の分析】

- ・前回の再評価時と同様に当該事業区間や周辺道路で渋滞が発生していることに加え、自才前工区においては歩道が設置されていないことから、引き続き事業の必要性は高い状況である。

②事業の進捗状況及び見込み	判定	<p><b>B</b></p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。          B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。          C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧市小牧原から村中の間は2013年度に主要渋滞箇所指定されるなど、交通渋滞は解消されていない。また、自才前工区においては歩道が設置されていないことから、事業の必要性は依然として高い状況であるため。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2003</th><th>2004</th><th>2005</th><th>2006</th><th>2007</th><th>2008</th><th>2009</th><th>2010</th><th>2011</th><th>2012</th><th>2013</th><th>2014</th><th>2015</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="13">←————→</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="13">←————→</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td colspan="13">←————→</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>  土工</td> <td colspan="13">←————→</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>  構造物工</td> <td colspan="13">←————→</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>  舗装工</td> <td colspan="13">←————→</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="5">66.4</td> <td colspan="5">15.3</td> <td colspan="5">16.3</td> <td colspan="5">5.0</td> <td>103.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="5">66.4</td> <td colspan="5">15.3</td> <td colspan="5">23.2</td> <td colspan="5"></td> <td>104.9</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="10">104.9</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5">11.1</td> <td>116.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>2.1</td> <td>1.7</td> <td>81</td> <td>2.9</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>98.0</td> <td>104.9</td> <td>107</td> <td>116.0</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>41.0</td> <td>41.7</td> <td>102</td> <td>48.8</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>54.0</td> <td>58.2</td> <td>108</td> <td>61.7</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>3.0</td> <td>5.1</td> <td>170</td> <td>5.5</td> <td>93</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2007年8月に大草工区(L=0.4km)が暫定2車線で供用</li> <li>・2010年8月に村中工区(L=0.9km)の高架部が暫定2車線で供用</li> <li>・2014年度に村中工区(L=0.4km)が4車線で供用</li> </ul>			2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計	工種区分	調査・設計	←————→																											用地補償	←————→																											工事	←————→																											土工	←————→																											構造物工	←————→																											舗装工	←————→																											事業費 (億円)	前回計画	66.4					15.3					16.3					5.0					103.0	実績	66.4					15.3					23.2										104.9	今回計画	104.9															11.1					116.0		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	2.1	1.7	81	2.9	66	事業費(億円)	98.0	104.9	107	116.0	90	工事費	41.0	41.7	102	48.8	85	用補費	54.0	58.2	108	61.7	94	その他	3.0	5.1	170	5.5
		2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																							
工種区分	調査・設計	←————→																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	用地補償	←————→																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	工事	←————→																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	土工	←————→																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	構造物工	←————→																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
舗装工	←————→																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
事業費 (億円)	前回計画	66.4					15.3					16.3					5.0					103.0																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	実績	66.4					15.3					23.2										104.9																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	今回計画	104.9															11.1					116.0																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
延長(km)	2.1	1.7	81	2.9	66																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
事業費(億円)	98.0	104.9	107	116.0	90																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
工事費	41.0	41.7	102	48.8	85																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
用補費	54.0	58.2	108	61.7	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
その他	3.0	5.1	170	5.5	93																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了予定年度に変更なし。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。</li> </ul> <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小牧原新田工区は2021年度に暫定2車線整備が完了し、事業全体としては2025年度整備完了予定である。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

判定	A	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>					
	【理由】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業は順調であり、予定通り 2025 年度までに整備完了が見込まれるため。</li> </ul>					
1) 貨幣価値化可能な効果（費用対効果分析結果）の変化	【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】						
	事業費の変更、交通量推計に用いたデータの変更、費用便益分析マニュアルの改定						
	【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】						
	区分		事業採択時 <small>(基準年：2002)</small>	再評価時 (1回目) <small>(基準年：2011)</small>	再評価時 (2回目) <small>(基準年：2016)</small>	再評価時 (3回目) <small>(基準年：2021)</small>	備考
	費用 (億円)	事業費	45	106.5	-	174.4	
		維持管理費	2	1.3	-	2.4	
		合計（C）	47	107.8	-	176.8	
	効果 (億円)	走行時間短縮便益	166	503.7	-	483.8	
		走行経費削減便益	- 1	35.7	-	41.8	
		交通事故減少便益	3	0.5	-	7.3	
合計（B）		168	539.9	-	532.8		
	(参考)	計画					
	算定	交通量	35,000	33,000	31,400	27,000	
	要因	(台/日)					
費用対効果分析結果（B/C）		3.6	5.0	-	3.0		
<p>※金額は、社会的割引率（4%）を用いて現在の価値に換算したもの。</p> <p>※事業採択時は村中工区（暫定2車立体）、大草工区（平面2車整備）を前提として実施</p> <p>※再評価時は、都市計画決定された最終形で実施</p> <p style="padding-left: 20px;">村中工区（立体4車整備、平面4車整備）、自才前工区（右折帯・歩道整備）、 小牧原新田工区（平面4車整備）、大草工区（平面4車整備）</p>							
【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】							
・費用便益分析マニュアル（2018年2月 国土交通省 道路局 都市局）							
【変動要因の分析】							
・事業費が増加したことにより、前回の再評価時に比べ貨幣換算化可能な効果（B/C）が低下しているが、依然として1.0を超えている。							

2) 貨幣価値化困難な効果の变化

【事前評価時の状況】

※事業採択時未実施

【再評価時（1回目）の状況】

※再評価時（1回目）未実施

【再評価時（2回目）の状況】

- ・国道155号村中交差点周辺は渋滞対策プログラムにおける渋滞区間に該当するとともに、貨幣価値化困難な効果として、交通弱者に対する安全性の向上、主要な渋滞個所の渋滞緩和などが期待できる。
- ・「貨幣価値化困難な効果 評価基準表」に基づき評価した評価地は0.89である。

達成目標(建設部方針)		評価対象の判断	貨幣価値化困難な効果 評価基準表	
			評価項目	基礎点 得点
1 防御力	①地震・津波対策の強化	◎	<input checked="" type="checkbox"/> a) 広域的な防災機能の向上が期待できる <input checked="" type="checkbox"/> 地震対策アクションプランなど地震防災関連の整備計画に位置付けられた事業に該当する <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路ネットワークの強化に資する事業に該当する <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路へのアクセス強化に資する事業に該当する	MAX3 3 2 1 3 2
	③交通安全対策の強化		◎	<input checked="" type="checkbox"/> b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる <input type="checkbox"/> 通学路の安全性向上に資する事業、交通バリアフリーにおける特定道路または重点整備地区における事業、生活道路の交通安全対策エリアにおける事業、または自転車ネットワーク計画に位置付けられた事業に該当する <input checked="" type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する <input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する
3 成長力	⑦人の交流を支え地域を活性化させる基盤整備	◎	<input checked="" type="checkbox"/> a) 主要な渋滞箇所の渋滞の緩和が期待できる <input checked="" type="checkbox"/> 渋滞対策プログラムに位置付けられた事業、または「緊急に対策の検討が必要な路切」に係る事業に該当する <input type="checkbox"/> 環状道路の整備又は公共交通機関の利用促進(交通結節点・バス路線の渋滞緩和等)に資する事業に該当する <input type="checkbox"/> 渋滞損失時間の県内上位区間(県平均値以上)の区間における渋滞緩和に資する事業に該当する	MAX3 3 2 1 3 3
総合計				9 8
評価値				0.89

【再評価時（3回目）の状況】

- ・国道155号村中交差点周辺は渋滞対策プログラムにおける渋滞区間に該当するとともに、貨幣価値化困難な効果として、交通弱者に対する安全性の向上、主要な渋滞個所の渋滞緩和などが期待できる。
- ・「貨幣価値化困難な効果 評価基準表」に基づき評価した評価地は0.89である。

達成目標(社会資本整備方針)		評価対象の判断	貨幣価値化困難な効果 評価基準表	
			評価項目	基礎点 得点
1 あいちを高める	②地域の活性化	◎	<input checked="" type="checkbox"/> a) 主要な渋滞箇所の渋滞の緩和・沿道環境の改善が期待できる <input checked="" type="checkbox"/> 地域の主要渋滞箇所の渋滞緩和に資する事業、または路切改良促進法により指定された路切の除却に係る事業に該当する <input type="checkbox"/> 環状道路の整備又は公共交通機関の利用促進(交通結節点・バス路線の渋滞緩和等)に資する事業に該当する <input type="checkbox"/> その他渋滞緩和に資する事業に該当する	MAX3 3 2 1 3 3
	③地震・津波対策		◎	<input checked="" type="checkbox"/> a) 広域的な防災機能の向上が期待できる <input checked="" type="checkbox"/> 地震対策アクションプランなど地震防災関連の整備計画に位置付けられた事業に該当する <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路ネットワークの強化に資する事業に該当する <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路へのアクセス強化に資する事業に該当する
2 あいちを守る	⑥交通事故対策	◎	<input checked="" type="checkbox"/> b) 交通弱者に対する安全性向上が期待できる <input type="checkbox"/> 通学路や未就学児が日常的に移動する経路の安全性向上に資する事業、交通バリアフリーにおける特定道路または重点整備地区における事業、生活道路の交通安全対策エリアにおける事業、自転車活用推進計画または自転車ネットワーク計画に位置付けられた事業に該当する <input checked="" type="checkbox"/> 沿線又は周辺に学校、病院、福祉施設、その他公共・公益施設等が位置する区間における交通安全対策事業に該当する <input type="checkbox"/> その他交通弱者に対する交通安全性向上が期待できる事業に該当する	MAX3 3 2 1 3 2
総合計				9 8
評価値				0.89

【変動要因の分析】

- ・前回評価時と比べ、貨幣価値化困難な効果に変化はなく、評価値については0.6を超えている。

判定	B	<p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>
	【理由】	<p>・ B/Cは1.0を超えており、貨幣価値化困難な効果の評価値についても0.6を超えていることから、事業効果の発現が期待できるため。</p>
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>・ 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度</p>		
V 事業評価監視委員会の意見		
一般国道155号（村中拡幅）の対応方針（案）[事業継続]を了承する。		
VI 対応方針		
事業継続		